

土木学会 スタイルファイル バージョン更新履歴

1. 土木学会専用 ASCII 版のクラスファイルおよびスタイルファイル

jsce.cls, soufuhyo.sty, soufuhyo2e.tex のみ一部修正を加えたので、更新してください。2005 年 3 月 31 日 付

表中の太字のファイルが、pLaTeX2e と LaTeX2.09 での仕様が異なるものです。

pLaTeX2e 対応の **JSCE.CLS (version 1.4)** と同梱ファイルの説明

| | |
|----------------------------------|---|
| Jsce.cls | PLaTeX2e ユーザ用の専用クラスファイル |
| Jsce-man.tex | 論文作成マニュアル |
| ronbun-j.tex | LaTeX 作成例 |
| soufuhyo2e.tex | 送付票の入力例 |
| Jsce-fig.tex | Ronbun-j.tex で取り込む図のソース |
| indent.sty | クラスファイルで取り込むスタイルファイル |
| Epic.sty, eepic.sty, eepicup.sty | Ronbun-j.tex に取り込んだ jsce-fig.tex を展開させるスタイル |
| soufuhyo.sty | 送付票のスタイルファイル |

2. 今回の jsce.cls 作成において主な矯正箇所や製作履歴など

jsce.cls (version 1.4) の変更点

- 土木学会論文集投稿要の和文原稿作成例 p18 の、英文アブストラクトの行送りを 10pt にした。

$\ifEN@LISH\small\baselineskip=13.7pt\%$

$\else \small\baselineskip=10pt \fi$

- 図、表、写真を本文で、 $\figno{1}$ のようにすると 図 1 という出力が得られるが、状況により、図と -1 で改行されるのを制御した。

$\renewcommand{\figurename}{図\nobreak--}$

$\renewcommand{\tablename}{表\nobreak--}$

$\newcommand{\photoname}{写真\nobreak--}$

$\newcommand{\figuresname}{図\nobreak--}$

$\newcommand{\tablesname}{表\nobreak--}$

$\newcommand{\photosname}{写真\nobreak--}$

- 送付票のレイアウトの訂正

土木学会論文集投稿要の p.22 に合わせて、LaTeX ソースの soufuhyo.sty と soufuhyo2e.tex を修正。

soufuhyo2e.tex の修正箇所

- ¥author の第 3 引数にあった学位の表記がなくなったので，削除．
% ¥author{会員}{姓名}{LAST NAME, First name}{勤務先・職名}
% 会員欄
% 正会員 ¥author{姓名}{LAST NAME,
% フェロー会員 ¥author[1]{姓名}{LAST NAME,
% 学生会員 ¥author[2]{姓名}{LAST NAME,
% 非会員 ¥author[3]{姓名}{LAST NAME,k
%
% 第一著者のみ，最後に会員番号が必要
¥author{建設太郎}{KENSETSU, Taro}{建設大学工学部環境土木工学科・教授}{1234567}
% 第二著者
¥authorA[3]{土木花子}{DOBOKU, Hanako}{建設コンサルタント・主任技師}
% 第三著者
¥authorB[1]{地球 栄}{CHIKYU, Sakae}{木土理化学研究所・主任}
% 第四著者
¥authorC[2]{環境三五郎}{KANKYO, Sangoro}{建設大学工学部土木工学科}
% 第五著者 いないときはコメントアウト
¥authorD{}{}{}
% 第六著者
¥authorE{}{}{}

• ページ数の記入とカラーページの内訳の欄に合わせて，入力できるようにした．
% 全頁数を算用数字で
¥totalpage{8}
% カラー頁の数
¥colorpage{2}

soufuhyo.sty の修正箇所

複雑なので，ここには掲載しません．